

陳情第68号	受理年月日	平成26年8月25日
付託委員会	総務財政委員会	
陳情者	愛知県安城市百石町二丁目17番6号 一輪のバラの会 代表 加藤 克助	
件名	特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律案の廃案を求める意見書について	
要旨	<p>2020年の東京オリンピック開催に向けて、国は観光客招致の政策の中で、カジノを国内で開業できるように準備を進めており、自由民主党、日本維新の会、生活の党の各党は、共同提案でカジノを中心とした統合型リゾート施設の整備を政府に促す推進法案を国会に提出した。</p> <p>法案の趣旨は、日本の観光や地域経済の振興に寄与すると主張し、世界の特にアジアの富裕層の人々が対象と伝えられている。しかし、国が賭博の胴元で地方自治体が賭博開帳の場所を提供するものと、私自身は理解している。</p> <p>過去、統合型施設もリゾート法に乗って多くの地方自治体が箱物をつくり、皆破産してばく大な負債を負ってしまったことは周知の事実であり、統合型施設は賭博のイメージを薄めるために、カジノに施設を併用するだけのことと思う。</p> <p>日本が観光で世界に誇るのには、山紫水明の自然豊かな日本であり、和食であり、そうしたおもてなしの精神で観光客を迎えることが大切なことであると考えている。</p> <p>国内各地には世界に誇る世界遺産が多数あるにもかかわらず、法案が提出されたことはとても遺憾である。特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律案を廃案にするよう国に意見書を提出していただきたい。</p>	